

Part3

NGN導入は小規模企業からスタート

企業活用編

「企業のNGN活用」は当面、個人向けのフレッツ 光ネクストをアクセス回線として、インターネット接続サービスやひかり電話オフィスタイプを利用する程度に留りそうだ。VPNサービス、広域イーサネットサービスの提供エリアが主要都市部に拡大する09年度以降から、本格的な普及が始まるだろう。

22

NGNで企業向けひかり電話はどう変わる?

既存の地域IP網でのサービスと同様に、中小規模事業所向けの「ひかり電話オフィスタイプ」が提供される。サービス内容も利用料(月額1365円)も同等だ。利用には、フレッツ 光ネクスト ファミリー / マンションタイプの契約が必要となる。

個人向けサービスと同じく、オフィスタイプでも新機能の「高音質音声通話」「SD品質相当テレビ電話」を使うことができる。通話料は標準品質と同額で、音声通話が8.4円 / 3分、テレビ電話が15.75円 / 3分となっている。

また、「ひかり電話ビジネスタイプ」に相当する大規模事業所向けサービスも今後提供される予定。09年度の初め頃までにはサービスが開始されそうだ。

23

既存のPBXやビジネスホンはそのまま使える?

既存のビジネスホンに接続し、ひかり電話オフィスタイプの利用を可能にする対応アダプタ「Netcommunity VGシリーズ」のフレッツ 光ネクスト対応版が、3月31日に発売されている。

4機種が用意されており、チャンネル数は4ch/8chの2タイプ、内線側インターフェースはアナログ / ISDN (BRI)の2種類から選択できる。価格は、4chのものが4万2000円、8chが6万3000円となっている。内線側のLANポートも1つ備えており、ルーターやIP内線端末を接続できる。

フレッツ 光ネクストにおけるひかり電話の新機能「高音質音声通話」「SD品質相当テレビ電話」も、このアダプタを導入し、新機能に対応するIP内線端末を接続することで使用可能となる。新機能に対応している端

末は、IP電話会議装置「MEETING BOX」、IPテレビ電話端末「フレッツフォンVP1500/1000」の3機種。それぞれ、フレッツ 光ネクスト対応のファームウェアがNTT東西のHPで公開されており、バージョンアップを行うことで新機能が使用できる。

既存の地域IP網における「ひかり電話ビジネスタイプ」に相当するサービスは、前項で述べた通り未だ提供されていないが、サービスが開始される際には、大容量機器に対応したアダプタも合わせて販売が開始されるだろう。



フレッツ 光ネクスト対応の「Netcommunity VG430i」